

# いざ土づくり! 美味しい富山を届けよう!



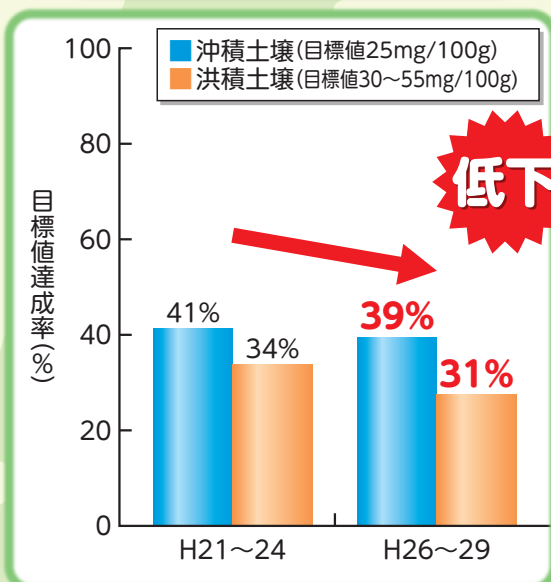
健全な土は、高品質で美味しい農産物を安定して供給するうえで、必要不可欠です。

## 県内水田土壌の目標値達成状況

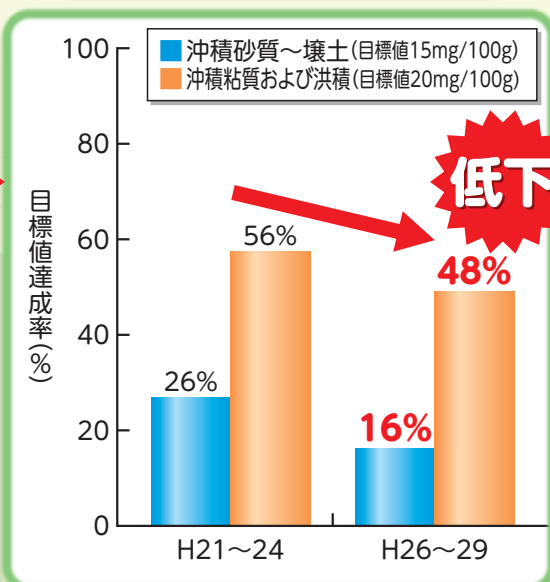
(農業研究所 定点調査)

県内水田土壌の大半で目標未達!!

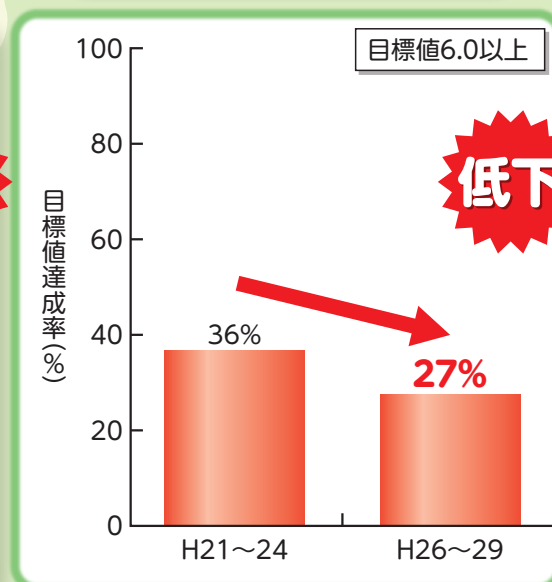
### ① 有効態ケイ酸



### ② 交換性カリ



### ③ pH



## 1 土づくり資材の散布

### 1 ケイ酸の補給

受光姿勢向上等による収量・品質の向上、割粃発生軽減による斑点米減少

### 2 カリの補給

1穂粒数増加や登熟向上、大麦・大豆の収量向上

### 3 適正pH(6.0~6.5)への誘導

大麦・大豆の生育安定化や病害・雑草の抑制等



写真:割粃

※散布資材・散布量等については最寄りのJAにご相談ください。

# 土づくり資材を確実に施用しよう!

継続的な施用により、収量・品質を高位安定化!!

富山県JAグループ / 富山県土づくり資材技術連絡協議会 / 富山県

10月1日は  
土の日

「秋の土づくり運動」

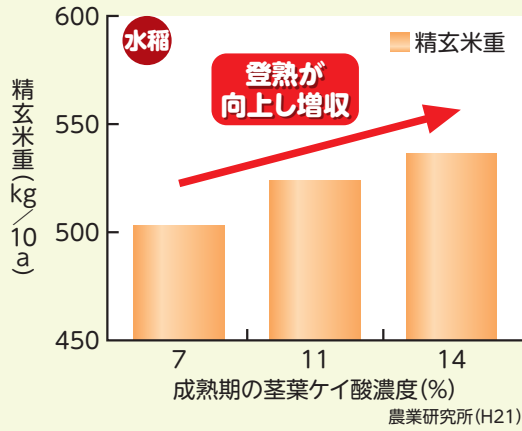
実施  
期間

9月15日~11月15日

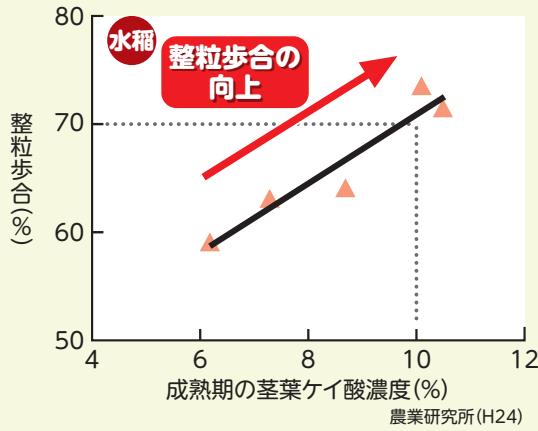
# 土づくり資材の散布によるケイ酸・カリの効果

## ケイ酸の効果

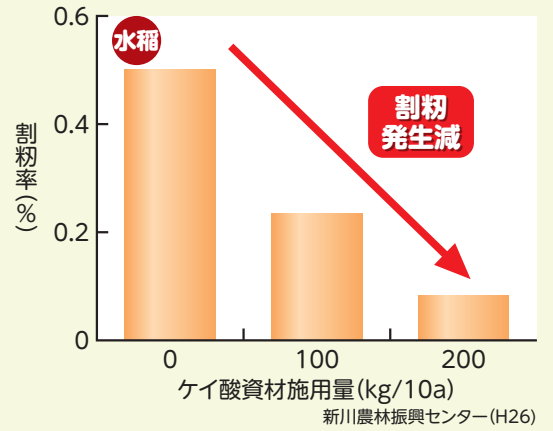
### 増収効果



### 玄米品質の向上効果

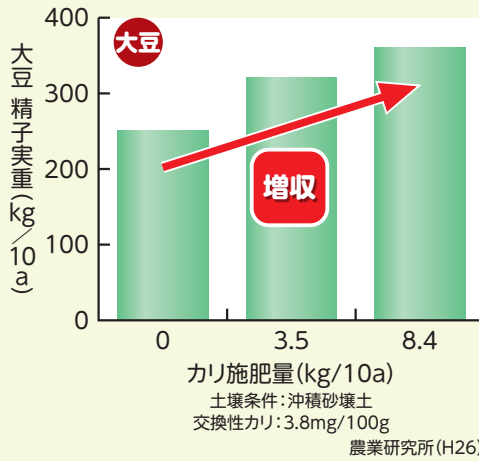
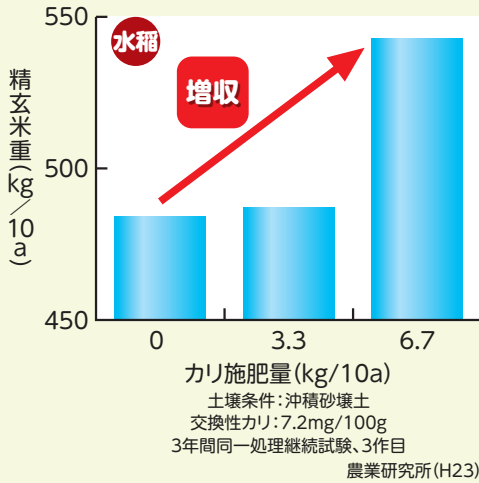


### 割削発生軽減効果



## カリの効果

### カリ不足のほ場でのカリ施用による増収効果



## 近年多発しているごま葉枯病対策



ケイ酸やカリに加えて、鉄・マンガンを含む資材の散布をお勧めします

# 2 有機物の施用

## 緑肥作物の効果

### ① 土壌物理性の改善

腐植の増加、土壌の通気性、透水性、保水性が向上、基肥の減肥にも有効



冬作緑肥あと大豆ほ場の降雨後の排水状況

※ヘアリーベッチとライ麦の混播作付区 前日の降雨量51.5mm

農業者研究所 (H26)

### ② 後作物の収量・品質の向上効果

夏作物(クロタリヤ等)後水稲では、背白・基白粒の発生低減などの品質向上が、ヘアリーベッチ後大豆では、収量が増加、しわ粒の発生減少が期待できます。

### ③ 後作物の基肥減肥

土壌の窒素肥沃度が向上し、後作物の基肥の減肥が可能

### ④ 環境保全効果等

地力の減耗や雑草の繁茂を抑制するとともに、景観形成にも有効

斑点米カメムシの生息密度減少にも効果的!

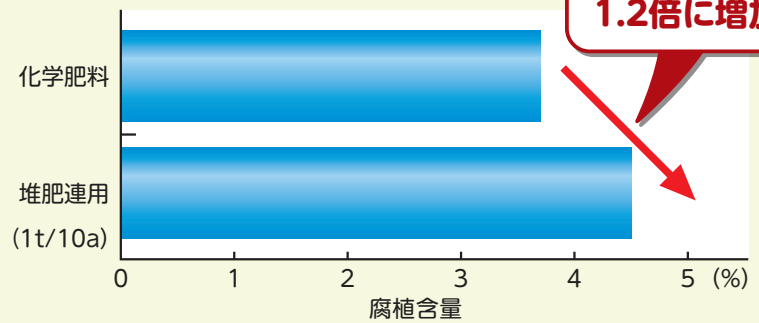
### ◆ 播種とすき込みの目安

作物名	播種時期	播種量 (kg/10a)	すき込み時期の目安
ヘアリーベッチ (冬作物)	水稲刈取後 ~10月中旬	3~5	後作物(大豆)の播種日の1~2週間前
ヘアリーベッチ+ライ麦 (冬作物)	水稲刈取後 ~10月中旬	ヘアリーベッチ:2 ライ麦:5	
クロタリヤ (夏作物)	6月上旬 ~8月上旬	5~9	普通種:播種後50~70日 広葉種:播種後60~80日
ソルガム (夏作物)	6月上旬 ~8月上旬	4~6	出穂期前後 (播種後60~70日)
エンバク (冬作物)	秋まき:9月下旬~10月中旬 春まき:3~5月	8~15	出穂後、早めにすき込む。後作水稲では、遅くとも代かきの2週間前までに実施

- 栽培ポイント
- 排水対策の徹底 額縁排水溝を設置し、ほ場の乾きを促進する。
  - 碎土率の確保 よく乾いたほ場条件で耕起する。

## 堆肥の効果

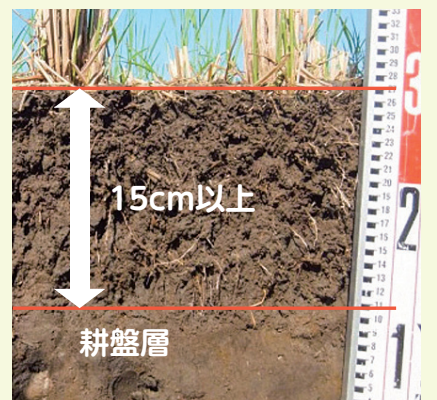
堆肥の施用により土壌肥沃度が向上、土壌物理性も改善



堆肥を4年間連用すると、腐植含量が1.2倍に増加

# 3 深耕の実施

深耕により作物の根が深く伸長することで、肥料の吸収効率が高まります。



安定した収量確保と品質向上のため現状+3cmの深耕